KOCHO だより 347 令和８年(2026年)11月９日

YIC 調理製菓専門学校・北九州調理製菓専門学校　須内章雅
Sunouchi Akimasa



○ 校内コンクール

KC 校では６日の金曜日に開催しました。２日の開会式の時に私は、「１年生は入学して７か月が過ぎました。速かったですか？」という投げかけをして「校内コンクールは通過点です。これまで学んだことをしっかり発揮しましょう。発表された作品だけでなく、周りの人の取組のよさなども学んで自分も伸びていきましょう。」などということを伝えました。紹介している作品は賞に関係なく私がランダムに撮影したものです。今回は教職員も出品しました。
























私は学生時代に絵画を専門で学んでいました。一週間とか、ひと月とかかけて制作が終了したときには講評会が必ずあります。すべての作品が並べられて出来不出来がみんなの目にさらされます。どうしても他人と比べられるわけですが、制作中には分からなかった自分の課題も明確になります。恥ずかしい思いを通り過ぎたときに一歩成長できるように思いました。

彫刻の制作をしたとき、私自身はそれなりに出来上がったかなと思っていたのですが、教授の批評はシビアでした。「器用すぎてつまらない作品だ。」というものでした。表面だけきれいになぞっていて本質を表現していないということです。それからの私の人生はその時の酷評がもとになっているといっても過言ではありません。どんな世界でもものごとの「本質」が大切です。調理と製菓の本質とは何か？たまにはこういうことを考えてみるのもいいのではないでしょうか。


YC 校のツワブキ（石蕗）

○ 自校自賛 …… 上記のとおり